

反射法データ処理プログラム

SPW Engineering

Parallel Geoscience Corporation

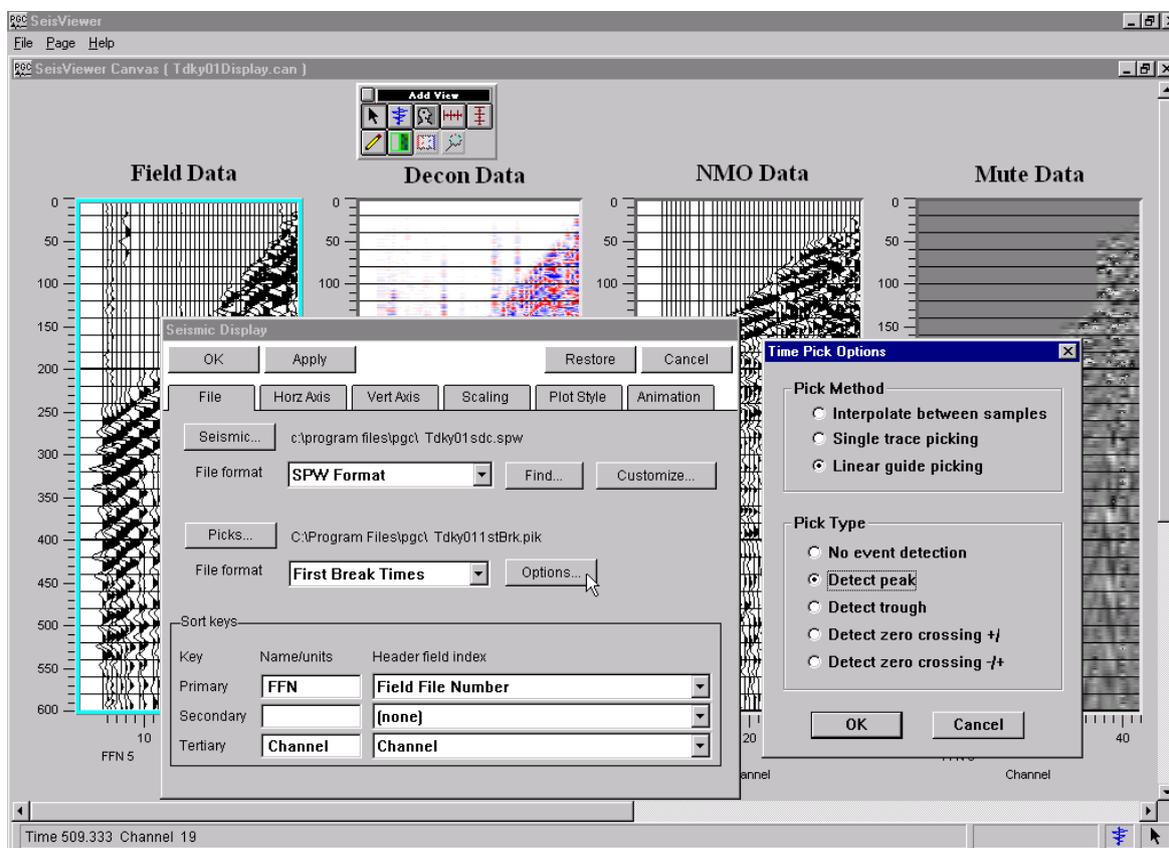
○SPW Engineering は、Windows XP, Windows2000, Macintosh, Linuxで現場で手軽に2D/3D 反射法の解析が実行できます。

○SPW Engineering は、各データセットあたり最大50,000トレースで120chまでのサイスミックデータを処理できます。またGPR（地中レーダー）のデータも取り扱うことができます。

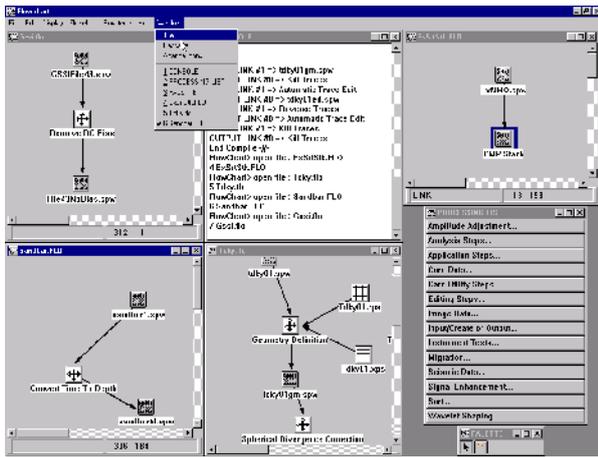
○SPW Engineering は、豊富な解析処理アルゴリズムを有しており、CMPスタッキングやマイグレーション、速度スペクトル、速度フィルター、FKフィルター、デコンボリューション等々が迅速に行えます。

○SeisViewer, FlowChart, Executor, TapeUtility等のモジュールが標準に装備されており、現場でのデータQCも含めて総合的なデータ処理の管理が行えます。各モジュールは、スタンドアロンとして購入することもでき、それぞれをローカルで使用することもできます。

○Executorはマルチスレッドによるプログラム方式を採用しており、並列処理や並列CPUあるいはさらに高速化するネットワークなど、今後も急速に技術革新が進むであろう将来のシステムにも対応できるよう、設計されております。

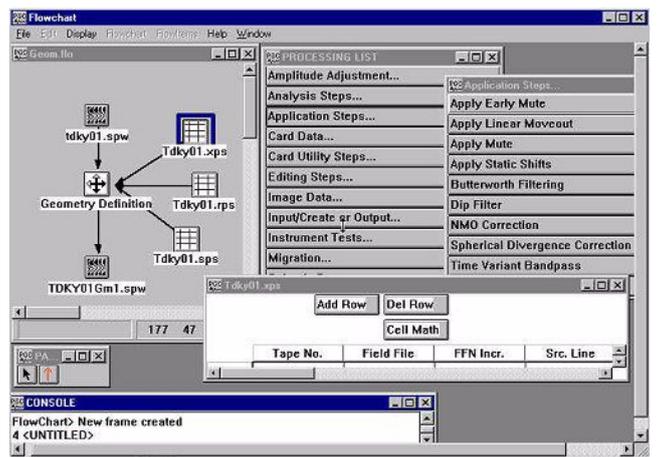


SeisViewerによる出力例



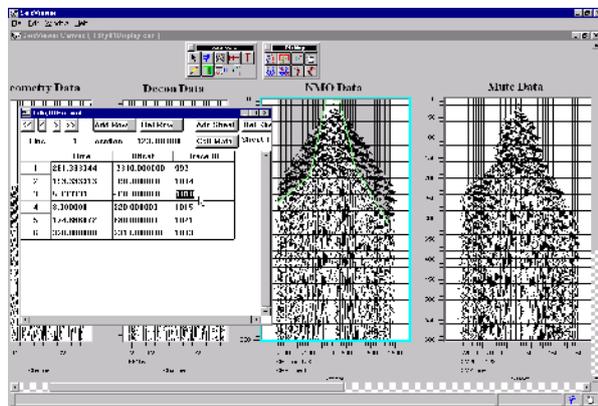
Tape Utility

サイスミックやGPRデータの分析
テープやファイルのコピー、確認、分析
SEGなど多くのフォーマット変換
外部ドライバーの制御



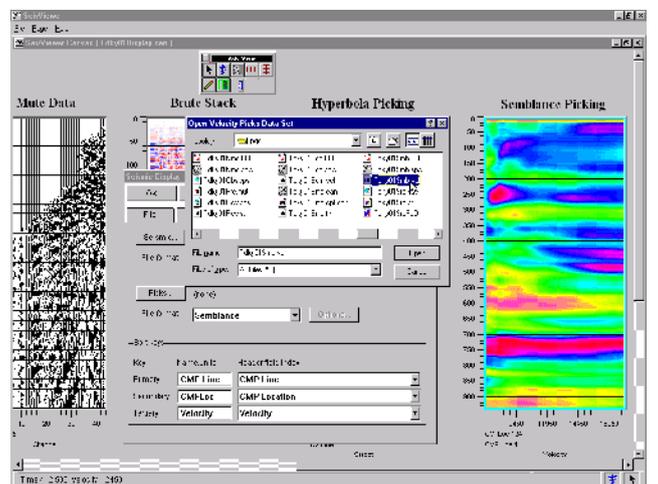
FlowChart

グラフィックユーザーインターフェース
処理フローの構築、編集、保存
処理パラメーターの入力ダイアログ
スプレッドシートでのデータインターフェース
Executorへの処理フロー出力



SeisViewer

サイスミックやGPRデータの表示、印刷
注釈の付記、重ね合わせ
ビットマップファイルでの出力
ピッキング、描画ツール
データのアニメーション表示



SeisViewerによる速度決定

数種のピッキング方式で、速度決定が容易

SPWに最適なハードウェア環境

ラップトップ・ノート PC
64MB RAM
CPU Pentium 200MHz
Adaptec SCSI card
内部6GBハードディスク

デスクトップPC
256MB RAM
CPU Dual P-III
(または Athlon(AMD-K7) 500MHz)
Adaptec SCSI card
内部27GB IDEハードディスク
17インチモニター

ハイエンドシステム
512MB RAM
Quad CPU P-III
(または Athlon(AMD-K7)800MHz)
Adaptec SCSI card - fast wide
48GB fast-wide SCSIハードディスク
DVD-Ram drive (Read/write 5.6GB)
CD-RW drive
21インチモニター



お問い合わせは
株式会社 テラ
(テラ=Terra)

事務所

〒361-0035 埼玉県行田市堤根1593-1
電話 048-553-3033 ファックス 048-553-3047
E-mail: terrajp@cpost.plala.or.jp

本社

〒365-0064 埼玉県鴻巣市赤見台三丁目15-4 0
電話 048-553-3033 ファックス 048-553-3047
URL: www.terrajp.co.jp